

# 山梨ライトハウス

山梨県盲人福祉センター（点字図書館）  
 電話/055-222-3502・223-1113（貸出専用）  
 青い鳥ホーム 電話/055-252-8994  
 青い鳥成人寮 電話/055-224-5060  
 青い鳥支援センター 電話/055-267-7480  
 青い鳥老人ホーム 電話/0553-26-6631  
 青い鳥ケアホーム 電話/055-235-5566

第86号

発行/社会福祉法人 山梨ライトハウス 〒400-0064 甲府市下飯田2-10-1

TEL/055-222-3502 FAX/055-233-0124 URL <http://yamanashi-lighthouse.or.jp/>



社会福祉法人 山梨ライトハウス



山梨ライトハウスの理念は  
 「<sup>あす</sup>視覚障害者の未来を照らす  
<sup>みちしるべ</sup>光の道標となること」です。

## CONTENTS

巻頭言.....	1	2019福祉祭.....	6
白い杖愛護運動月間.....	2	今、福祉は.....	7
生活体験文 最優秀賞受賞作品 ..	3	お知らせ.....	8
ライトハウスニュース..	4・5		

# ライトハウスと共に四十年

青い鳥老人ホーム  
 施設長代理 小沢 良子

四十年前、私は社会人として仕事を  
 するにあたり、人と直接関わる仕  
 事をしたかと思っていました。そん  
 な時に学校から紹介されたのが山梨  
 ライトハウスです。

最初に配属された青い鳥成人寮で  
 は、盲聾啞の利用者さんが自転車に  
 乗ったり、凧揚げをしたりと何にで  
 も挑戦する姿に大変驚くと共に、感  
 動する毎日でした。時には、機嫌を  
 損ねて無断外出した利用者さんを職  
 員総出で探すこともありました。ま  
 た、施設交流で行った韓国やハワイ  
 では利用者と共にダンスや歌を披露  
 するなど異国の地を旅する中でより  
 絆を深め理解しあえる  
 機会にも恵まれました。

鳥老人ホームへ異動となりました。  
 障害を乗り越え生きて来た高齢利用  
 者の前では、自分がそれまで培って  
 来た経験や誇りは無意味なのではな  
 いかと悩みました。すべては一から  
 の勉強となり、相手を敬い教えを乞  
 い、時には「喧嘩」という言葉が正  
 しいかどうかわかりませんが、利用  
 者と本音と本音のぶつかり合いをし  
 たこともありました。その中から生  
 まれた利用者との信頼関係は、私に  
 とってかけがえのない宝物となっ  
 ています。

山梨ライトハウスで過ごせた  
 日々感謝し、これからも障害者  
 福祉また高齢者福祉の次世代の担  
 い手たちに私が経験した事を日々  
 伝えつつエールを送っていきたく  
 と思います。

利用者も支援したいと  
 いうよりも、共に生き  
 る喜びを模索し学んで  
 いったという思いを強  
 く持っています。成人  
 寮での様々な出来事が、  
 今でも昨日の事の様に  
 思い出されます。



思い出の成人寮ハワイ研修



利用者みなさんと老人ホームの庭で桜の花見



第65回白い杖愛護運動月間 令和元年11月1日～30日

# 白い杖・盲導犬キャンペーン 白い杖福祉の集い

第65回白い杖愛護運動（山梨県・山梨県教育委員会・山梨ライトハウス主催）が11月に行われました。

1日（金）には、「白い杖・盲導犬キャンペーン」を甲府駅、富士山駅、富士吉田市内のいちやまマートイツモア赤坂店で展開し、啓発パンフレットとふれあいの鈴等の配布とともに、目の不自由な方々を正しく理解し、協力していただけるよう呼びかけました。



挨拶をする萩原理事長



甲府駅南口

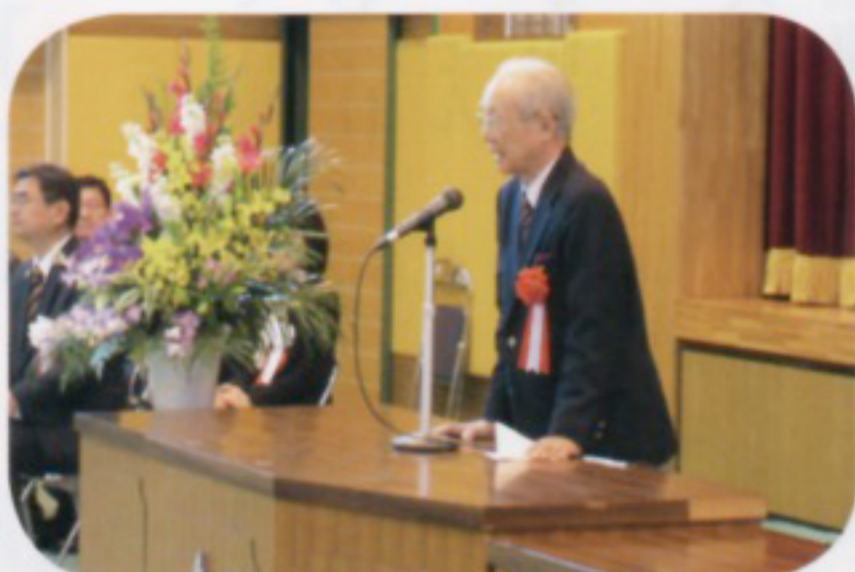


甲府駅北口



一新された趣意書

3日（日）には、山梨県立盲学校体育館を会場に「白い杖福祉の集い」を開催しました。式典では、点訳・音訳奉仕者知事表彰、白い杖愛護作文・生活体験文受賞者の表彰を行い、最優秀作文の朗読が披露されました。



山梨県障害者福祉協会竹内理事長あいさつ



知事表彰を受賞された青い鳥奉仕団員の皆さん



知事表彰受賞者代表のこたば



愛護作文（小学校の部）受賞者



愛護作文（中学校の部）最優秀賞の朗読



愛護作文（中学校の部）受賞者



愛護作文（高等学校の部）受賞者



生活体験文（児童生徒の部）受賞者



生活体験文（一般の部）受賞者

白い杖愛護作文・生活体験文合わせ335編の応募がありました。今年度は、自らの体験を通して知りえたことを自らのこととしてとらえ、自分はどうあるべきか、何ができるかを考え、行動するといった作品が多く、共生社会がますます広がっていくことを期待します。



# CHANGE

【児童生徒の部】 山梨県立盲学校 中学部二年 山宮 叶子

「友達が欲しい。」「友達を作る。」七月に出場した「関東甲信越地区盲学校弁論大会」で、私はそう宣言した。初対面の人に話しかけることが苦手な私は、今まで何度も「積極的にになりたい」と言っては、結局自分の殻を破れずにいた。けれど、大勢の人の前で宣言したことで、覚悟が決まった。私は「科学へジャンプサマーキャンプ」への参加を決めた。全国から視覚障害のある中高生が集まり、様々な活動を通して経験と見識を広げ、交流するイベントだ。私は絶対に友達を作ると心に決めて、参加した。

キャンプ当日、いざ気持ちを行動に移そうとすると、不安でいっぱいになった。親も先生も知っている人も誰もいないこの環境で、私はなじめるのだろうか。自分から話しかけられるだろうか。話し声が聞こえると、私だけ一人取り残されている気がした。焦った。「私だけ最後まで二人ぼっちのままだったらどうしよう」。本当に焦った。焦りを感じると行動することから逃げ、誰かが話しかけてくれることを期待して待つ。それが今までの私だ。でも、私は変わるんだ！焦りは、私の気持ちを勇気に変えてくれた。思い切つて、隣の人の名前を呼んだ。声が震えた。異様に長く感じる静けさに息が詰まる。返事が返ってきた！嬉しさが緊張を上回った。自然と言葉が溢れてきて、私は会話に夢中になった。「やればできるんだ」自分をほめたくなった。

この明るい気持ちのまま、私はもう一つ行動することにした。それは、皆の会話に自然に入ることだ。誰かに話しかけてもらわなければ輪に入れない。「突然話に入ったら迷惑だろう」と、先回りして行動しない言い訳を考えてしまう。それが今までの自分だ。でも、今の私にならできる気がする。皆の会話に耳を澄ませた。今だ！「それ私も知ってる！」思い切つて発言した。大丈夫、雰囲気も壊れていない。何人が反応してくれた。会話が次々生まれる。皆に少しなじめた気がした。気づくと最初の不安はなくなっていた。私は皆の輪の中で笑っていた。

四日間、皆で様々な活動をした。プロダラミング、木工、オリジナルの演劇。一緒に活動するうちに、自然と会話に入れるようになった。「連絡先交換しよう。」「一緒に写真撮ろう。」「自分でも驚くくらい積極的になれた。今までの人生の中で、最高に楽しい、そしてびびくりするほどあつという間の四日間だった。

これからもこんな風に、誰にでもすぐ自分から話しかけられたらいい。でも十四年間引つ込み思案だった心はなかなか手強い。けれど、今回のキャンプと、自分で作った大切な友達を思い出せば、それが勇気につながるはずだ。言葉は力になる。だから私は宣言する。私はこれからも少しずつ変わっていく。

## ルンルン気分で爽やかに

【一般の部】 富士河口湖町 木村 昭子

一九九四年の冬のある日、回覧板を見ていた娘が「山梨県で盲導犬の委託事業が開始され、その使用者を募集しているからお母さんも申し込んだら」と話しかけてきた。実は、私は白杖を手に二人で自由にどこへでも出かけていたが、地元の外出には、常に娘や夫の車でと、自分では歩いていなかった。しかし、これ以上家族に負担をかけないように、自分の用事くらいは足せるようにしようと考えて、盲導犬を申し込みました。それから三ヶ月、N訓練所で、盲導犬、大輔との出会いがあつた後に、三週間の共同訓練が行われた。そして、桜が満開の中を、私と大輔は、颯爽と帰宅したのでした。

早速次の日から、私と大輔は、自宅周辺を覚えるため、懸命に歩き出しました。このあたりには、歩道も音響信号機もないので、曲がり角やランドマークを一つ確認しながら、歩行範囲を少しずつ広げていった。

それから数日後、ちょうど図書館へ返却の本があり、初めて郵便局へ行くことにした。我が家から歩いて数分、信号を渡ると、そこに郵便局がある。大輔に入り口を探させ、中へ入ると、

「あつ、盲導犬だね、利口そうだね、おとなしくていい子いい子」と局員から褒められた大輔は、うれしそうに長い尻尾を大きく振っていた。「今後、この子と来るので、よろしくお願いします」と頭を下げて、外へ出た。初めての外出が、大輔と一緒とはいえず、うまい具合にいたので、私は、大きな喜びと満足感で、おもわず「大輔ありがとう」と、ぎゅつと抱きしめたのでした。

一つの成功は、大きな自信へとつながり、それまで人任せにしていた役場や買い物などの用足しも、徐々にできるようになっていったのです。

こうして、自由に歩けるようになって、二番の楽しみは、散歩です。夕暮れに大輔とゆつたり歩いていると、あちらこちらから虫の音が聞こえてくる。どこからか、ふわつと、甘い金木犀も香ってくる。もう、すっかり秋だ。しばし立ち止まって、深呼吸をする。すると、いつの間にか、身も心もほぐれて、気分が楽になってくる。本当にすばらしいひと時です。

さらに、散歩といえば、こんなに面白いことがあります。今使用中の、盲導犬、トニーの話ですが、ある日の散歩の途中で、

急にアイスクリームがほしくなったので、近くのコンビニへ立ち寄った。すると、店内は混雑していたので、向かい側の店にも行ったがあいにく、ここの客はいっぱいだったので、そのまま帰宅しました。再び次の日も、散歩の帰途、昨日と同じ店舗へ寄ったが、やはり店内はにぎやか過ぎて、買い物どころではなく、仕方無いので帰宅。ところが、我が家の前まできたのに、トニーは素通りして、ひたすらに歩き続ける。裏道を通り、踏切を渡って、ようやくくだり着いたのが、先程立ち寄った駅前コンビニの二号店だったので、この店舗へは、しばらく来ていなかったにも関わらず、なぜ私を連れてきたのか。おそらく、昨日も今日も買い物できなかった私をかわいそうに思ったトニーが、勘案した結果だったと思います。しかし、犬にそのような知恵があつたのか。まさしく、私のトニーは、日本一優秀な盲導犬だったので。これからも、日本一優秀なトニーと一緒に、好きな時に、好きな所へ、自由に出かけて、身も心も軽やか、「ルンルン気分です」も、どこまでも、元気いっぱい歩きます。



# ライトハウスニュース

## NEWS NEWS NEWS

### ●盲人福祉センター

#### 体験できる用具が増えました！

二〇一九年度「読売光と愛の事業団」助成のロービジョン機器類が日本点字図書館から長期貸出されましたので、ご紹介いたします。

白杖・音声時計・ロービジョン用ノート・透明凸点シール・レターガイド・宛名書き定規・触読用ものさし・拡大読書器（画面4インチ）・IHクッキングヒーター・計量ポット／カップ／スプーン・プッシュ式調味料入れ・音声クッキングスケール（はかり）・ゆびさきトンガ・簡単系通し・硬貨六種が仕分けられるコインホーム・紙幣が見分けられる簡単サインガイド・安全つめきり・半月型つめやすり・音で教えてくれる鍵探し（キーファインダー）・オセロゲームなど。

ご来館時や移動ライトハウスで各地に出向いた際には、実際に手に取り体験していただくことができます。是非、ご利用ください。



キッチングッズ



便利グッズとゲーム



ロービジョングッズ

### ●青い鳥ホーム

#### 福祉祭でマッサージ奉仕

青い鳥ホームでは、令和元年十一月三日（日）に行われた、山梨ライトハウスの福祉祭で一人十五分無料マッサージを行いました。当日は天気も良く地域の方々がたくさんお越しくださいました。大変盛り上がりました。マッサージは、昨年まで外のテント内で行ってきましたが、今回は、成人寮内にコーナーを設けて行なわれ、お客様は、始まる前から並んでくださりました。毎月の理療訓練でスキルアップしたホーム利用者、指導員、理療講師そして福祉祭スタッフがそれぞれ対応し、終わってみると三十三人も来てくださりました。マッサージは、十五分という短い時間でしたが、リラックした雰囲気の中会話も弾み和気あいあいと行われ、本当にありがとうございます。次はホームでの利用を心よりお待ちしております。



マッサージは、「気持ちいい」と言ってくれるように心を込めて揉むのが一番大事なことです。「ホームにも是非来てくださいね」とPRも忘れませんでした。

### ●青い鳥支援センター

#### クリスマス会

十二月八日にクリスマス会を開催しました！今回のクリスマス調理のメインメニューは、白菜たっぷりクリームシチューでした。シチューのほかナゲット、フライドポテト、ケーキも加わり満腹！みんなで楽しく作り美味しくいただきました。クリスマス会といえば、カラオケやゲームで盛り上がるのですが、そんなゲームにも一工夫！ルールがなくても盛り上がりやすいように「サンタを捕まえるゲーム」をしました。新聞紙を丸めて作った大きな輪をみんなを持ち、逃げるサンタを追いかけ輪っかを投げ捕まえます。意外と輪っかがフニャフニャして投げるのも大変でみんなで大笑い！捕まえられたサンタは、顔が見えないほど輪っかをかけられていました。

絶品のシチューを食べながらの一日は、みんながニコニコで穏やかに過ぎ、「あ〜幸せだな〜」と毎年ほっこりさせられます。

写真のクリスマスリースは、坂本繁さんのお母様が作ってくれました。毎年ありがとうございます。



坂本さん作



おぼけサンタ



全員集合



楽しいクリスマス会

十二月十一日、成人寮のクリスマス会が行われました。クリスマスソングが流れだす十一月半ば頃から準備はゆっくと始まり、楽しみにしていた当日を迎えました。

特にグループ活動の発表や歌合戦には力が入り、利用者さんと共に職員が趣向を凝らしました。午前の部の紅白歌合戦から始まったクリスマス会は、手作りの衣装や応援グッズもあり、とても盛り上がりました。昼食は、お寿司にチキン、ポテトにすまし汁など：いつもとは違うごちそうに皆さんウキウキです。午後のグループ活動の発表では一生懸命練習した成果が発揮され素晴らしい発表になりました。その後、職員五名のバンド「BBB」による演奏と歌で、にぎやかに締めくくりました。

最後にクリスマスケーキを食べ、いよいよサンタさんの登場です。担当の職員がそれぞれ利用者さんの事を考えながら選んだプレゼントが贈られると、あちらこちらのテーブルから歓声が上がります。「何が入っているのだろうか？」とワクワクでプレゼントを開けて、また歓声。プレゼントトークが、なかなか止まりません。利用者さんの笑顔が溢れる、こんな時間がたくさんあれば嬉しいなと思う瞬間でした。



ボスねご登場



かんぱーい



皆さんともお上手でした

忘年会

月日が経つのは早いもので、令和元年が終わりました。青い鳥ケアホームでは、令和元年最後の行事として十二月二十六日に「湯志摩の郷 楽水園」にて忘年会を盛大に行いました。

楽水園に着くと、まずは温泉にレッツゴー。職員も一緒に入浴し、背中のおなかの肉の摘み合い。「大きな背中だね〜！少し肉がついたかな」と笑い声が響き渡り、一年間分の垢と疲れを取り、心と身体を癒しました。

温泉から出ると宴会場では豪華な食事が待っていました。皆でコップを持って大きな声で乾杯。前菜、鍋物、洋皿、蕎麦、デザートなど、季節を感じる趣向を凝らした食事を楽しむ事が出来ました。カラオケも大盛り上がりで、マイクを片手に懐かしの歌謡曲や演歌やアニメソングなど、皆さんの歌声と拍手が会場で響き渡りました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後はプレゼント交換です。それぞれが用意したプレゼントを音楽に合わせて回し、曲が止まった時に手に持っていたのが自分へのプレゼント。お菓子、タオル、傘、クオカード：皆さんが喜ぶものが沢山ありました。

令和元年、新しい仲間も増え、元気に楽しく過ごす事が出来ました。令和二年も利用者さん達と共に、さまざまな事に取り組んでいきたいと思えます。



いつ曲が止まるかドキドキ



ごちそうだね

青い鳥ゆく年くる年

寒い日が続いていますが、利用者の皆さんは元気に過ごしています。十二月十九日には「年忘れ会」があり、金子敬先生・雨宮信明先生の「ハーモニカとギター演奏を楽しみました。」「リゴの唄」「高校三年生」が流れると、一緒に歌い拍手をして盛り上がりました。次にサンタに扮した施設長が登場し、利用者全員に衣類がプレゼントされました。シャンメリーで乾杯した後は、厨房の手作りオードブルを食べます。海老チャーハン、から揚げ、花豆煮、カボチャのアボカドチーズ焼きにフルーツの盛り合わせ等が華やかに盛り付けられ「次は何を食べようかな」「美味くて最高」と大満足。食後は職員のハンドベル演奏と福引で会を締め括りました。

二十七日は恒例の「餅つき」があり、利用者も杵を握り餅つきに挑戦しました。このお餅は当日の昼食であんころ餅、三が日中のお雑煮として供されました。年が明けて一月九日には恵林寺への初詣です。皆さんの健康と幸せを願いました。令和二年も行事盛り沢山、楽しく元気に頑張ります。



料理を囲んでの楽しいひと時



力を合わせてお餅つき



サンタと並んで、はいチーズ



# 福祉祭 2019.11.3(日)



## 園児のかわいい演奏でスタート



## 当日のパンフレット

来年もぜひおいでください!

## メイン会場の様子 とても賑わいました



**プログラム** 青い鳥成人寮前庭

12:30~14:00 **ふれあい 2周年記念** 参加無料 申し込み不要

オープニングイベント 11:45~  
甲府西幼稚園 (和太鼓演奏)

各施設の発表 12:30~13:30  
青い鳥ホーム  
青い鳥成人寮  
青い鳥老人ホーム  
青い鳥ケアホーム  
山梨青い鳥奉仕団

ふれあい回一号区 (旅愁 ふるさと)  
お楽しみ抽選会

屋台コーナー 12:10~

- ・梓つきもち (あんこもきなこ)
- ・大釜でつくるほうとう
- ・皮付きフライドポテト
- ・炊き込みごはん
- ・餃子 (無料)
- ・やきとり
- ・おでん
- ・ゆうき工務さんの美味しい焼き菓子
- ・ハッピーKAIさんの焼きイモ
- ・青い鳥成人寮の陶器品

マッサージコーナー  
盲人用囲碁コーナー  
点字ミニ教室  
アイマスク体験コーナー  
点字さがし  
3フーズ以上参加でプレゼント!!

点字って?  
点字はもとの読み合わせでできている。さわってわかる文字です。数やアルファベット、音も表せるんだよ。

点字まめ知識  
点字はすべて横書き! 読む場合は左から右、書く場合は右から左にすむよ!



## 各出し物は合唱・合奏・劇など盛りだくさん



## NPO法人ハッピーKAIさんのブース



## 成人寮内のブースも大盛況





# 山梨青い鳥奉仕団第二回合同研修会

山梨青い鳥奉仕団理事 川井 洋二（音訳）

令和元年度の合同研修について担当理事の打ち合わせを持ち、第二回は県立盲学校の見学および全盲、弱視体験と決まり、八月六日（火）実施しました。

その反省会の席上、私たち山梨ライトハウスの理事長のことあまり知らないね、という事になり厚かましくも「何か喋って下さいよ」と、お願いし強引に理事長の人となりを知ってもらおう事を目的に、十一月二十九日（金）の午後、第二回合同研修会を、講演会という形式で開くことにしました。

当日のテーマは「道はそこにある」――私が出会った人たち―という事で、理事長ご自身でレジュメ

五十部まで先にご準備して戴いてのいたれりつくせりの講演会でした。

さて、内容は「老いを考える」



講師を務める萩原理事長



話しに聞き入る奉仕団員

「死について思う」「音楽」「生きる」といったくりで、平成元年から七年くら

いまでの、山梨日日新聞社現役時代に取材した人たちについて執筆したコラムを授業形式にまとめて、時には、スマートフォン内の画像をプロジェクトで映

写しながら、脱線も含めて話は尽きることなく、聴講しているわれわれも時間超過に気づかない程でした。

新聞社を勤め上げた方に、山梨ライトハウスの理事長なんていう畑違いな仕事に務まるのかな？なんて、大変失礼な心配をしていた私にとってそれはまったく危惧に過ぎないという、思いを持たせてくれた二時間でした。

# 第四十五回 全国視覚障害者情報提供施設大会（栃木大会）へ参加して

盲人福祉センター 細川 純子

令和元年十月三日（木）～四日（金）宇都宮市で開催された「全国視覚障害者情報提供施設大会（栃木大会）」へ参加してきました。

「視覚障害者等の読書環境の画期的な法的整備に基づき、サピエを柱とする情報提供サービスの将来像を展望する」をテーマに、全国から一八〇施設約二〇〇人が集まりました。

一日目は、全体会として「視覚障害者等の情報保障の到達点と課題 法律・施策の動きと全視覚協の取り組みについて」昨年六月に成立した視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律「読書バリアフリー法」の施行と課題について、全視覚協の竹下理事長から話があり、そのあと各分科会に分かれました。第二分科会「利用者のニーズに根差した点字資料の提供について考える」

では、山梨ライトハウス職員の梶原が、点字の啓発活動についての取り組みとして、白い杖愛護運動月間行事及び夏休み点字・盲導犬体験会、福祉講話、移動ライトハウス並びに、県内の眼科医などとの連携について発表しました。

二日目は、「サピエと点字図書館の利用対象者の拡大



研修会の様子



交流会の様子

を目指して」をテーマにブロック別に分かれ、施設からどのような課題があり、その課題に対してどのような取り組みが必要かについて意見を出し合いました。その後、大会式典、シンポジウムで閉会となりました。また、メーカー十三社による機器展示会が同時開催され、最新の福祉機器を体験することが出来ました。

この大会を通して、「読書バリアフリー法」の施行によりサピエ図書館の受益者が視覚障害者だけでなく、印刷物の判読が困難な方も加えられたことを受け、ライトハウスでの福祉サービスをより多くの方たちに知って頂くために、公共図書館や眼科医などと連携しPRしていくことがますます重要になってくることを痛感しました。



福祉機器体験の様子





## 山梨放送様から 点字カレンダーのご寄贈

令和元年11月19日、日本テレビ小鳩文化事業団製作の  
カレンダー「点字版」300部が山梨放送ラジオセンター長兼  
ラジオ編成業務部長 石川 治様より山梨ライトハウス萩原  
満治理事長に贈られました。今回のテーマは「日本の世界  
遺産」です。



石川ラジオセンター長(右から2人目)から萩原理事長(右から3人目)に贈られました。  
左端は山梨ライトハウス梶原主任、右端はラジオライトハウス担当塩澤アナウンサー



「日本の世界遺産」がテーマの点字カレンダー

## 点訳・音訳奉仕員養成講習会 が修了しました

今年度の点訳奉仕員の修了者は6名、音訳奉仕員の修了者は10名でした。  
これから、それぞれ練習を積み重ねて実践に入ります。皆さん今後とも、図書製作へ  
のご協力を宜しくお願いいたします。



点訳講習修了者と講師



音訳講習修了者と講師

## 訃報のお知らせ

山梨ライトハウス元理事島津壽秀様におかれまして  
は、令和元年十一月八日九十九歳でご逝去されました。  
ここに生前のご厚誼を衷心より感謝申し上げます。  
島津様は、昭和五十三年四月から平成二十二年十一月  
までの長きにわたり当法人の理事を歴任され、ご尽力く  
ださりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 川柳

(十二月ライトハウス川柳会から)

浅川 和多留 選

敬老会苦勞した顔笑みに変え

本間りよう

令和時代二つの台風 技をなす

相沢 幸雄

メタボには大敵という煮カツ井

埜村 和美

渴望の人生百年遠い夢

細川 一

クラス会 乾杯の声 天に伸び

加藤 隆

木枯らしに名残惜しむや

桑原 梅次

焼き芋が今日も笑顔をつれてくる

藤野ます子

三面が際立ってくる年の暮れ

堀内 孝春

骨折で痛めた背骨がいとおしい

佐野 しま

ホカホカと小春日和に誘われる

岡部 恵子

クリスマス孫の笑顔を買

萩原 満治